

立川病院の無痛分娩について

無痛分娩とは、陣痛時に麻酔薬を使用し、陣痛の痛みを和らげながら分娩する方法です。

当院では、背中からカテーテルを挿入し、麻酔薬を注入する硬膜外麻酔を用います。

母児の安全性を最優先に考え、麻酔科医による麻酔導入、誘発剤により陣痛を起こす計画分娩での対応となります。

*分娩時・陣痛の疼痛緩和を行うことで、産婦ご自身の満足度の高い分娩と産後の早期回復を図ります。

*疼痛を和らげることで、恐怖や緊張が軽減します。それにより、カテコラミンの過剰分泌、過換気が抑制でき、胎盤血流を良好に保ち、児への負担も軽減します。

*疼痛を和らげることで、体力温存に繋がります。

当院での無痛分娩対象者

- ① 無痛分娩を希望している経産婦
- ② 無痛分娩の禁忌に該当しない方（禁忌：血液凝固障害、重症の妊娠高血圧症候群、穿刺部位感染、重症大動脈弁狭窄症・閉塞性肥大型心筋症等の心疾患、神経筋疾患）
- ③ 妊娠 34~35 週の健診で BMI が 30 以下、分娩時の BMI が 35 以下の方
- ④ 日本語でコミュニケーションがとれる方
- ⑤ 当院での無痛分娩に関する説明を受け、同意された方

費用

10万円

BMI 高値加算：2万円（BMI が 30~34.9 の方）

無痛分娩 申し込み方法と流れ

ご希望の方は、33~34 週までに当院の医師に直接お申し出ください。

34~36 週頃に、無痛分娩説明・麻酔科外来の受診・必要な検査を行います。

注意事項

- ・無痛分娩は完全に痛みが無くなることではありません。
- ・無痛分娩の受け入れ枠を超える場合、ご希望に添えない場合があります。
- ・無痛分娩を希望されていても、経過により、医師の判断で中止となる場合があります。
- ・無痛分娩予定前に、破水、陣痛など起こってしまった場合は、無痛分娩は行えません。

※無痛分娩に関する質問やご不明点は、妊婦健診時に担当医師へお尋ねください。

2025年 12月

国家公務員共済組合連合会 立川病院 産婦人科外来・8S 病棟